



山形連携中枢都市圏に大石田町が加入

山形連携中枢都市圏の連携協約締結式が1月12日(火)に、村岡町長の出席のもと山形市役所で行われました。

同都市圏は、中核市である山形市を中心に形成されるもので、今回、大石田町と尾花沢市が新たに加入したことにより、村山地域の7市7町すべてが参加することになります。年々、人口減少が加速する中、各市町の取り組みに加えて同都市圏での連携した取り組みを展開することで、圏域人口50万人の維持を目標としています。令和3年度は、広域観光の促進やふるさと納税を活用した圏域特産品等のPR、子育て支援センターの相互利用など39事業に取り組みます。

連携中枢都市圏とは？

人口減少や少子高齢化を踏まえ、国が平成26年度に導入した仕組みで、大きな地方都市が近隣の市町村と連携して「圏域」を形成することで、一定の人口を抱え、経済や社会の活力を維持できる拠点を作ろうというものです。大都市への人口流出をとどめるダム機能を果たしていくことが期待されています。

山形県統計功労者表彰 統計調査員表彰

山形県統計功労者表彰式が2月4日(木)に山形テルサで行われ、統計調査員が表彰されました。これは、統計調査員として永年統計調査に従事され、統計の普及発達に貢献した功績をたたえ贈られたものです。大変おめでとうございます。

《山形県統計協会会長表彰》

- 今田 晴介 (庚申町)
- 齊藤 清 (井出)
- 高橋 隆志 (上ノ原)



《山形県統計協会会長感謝状》

◎多年従事統計調査員

- 阿部 俊一 (来迎寺)
- 高橋 満 (小菅)
- 仁藤 義廣 (田沢下)
- 星川 松雄 (駒籠)
- 森 篤 (曙町)

◎退職統計調査員

- 井 莉博子 (川前)

(※敬称略)



全日本アンサンブルコンテスト 東北大会で銅賞を受賞

大石田中学校吹奏楽部のフルート三重奏が、40団体が出場した県大会を勝ち上がり、全日本アンサンブルコンテスト東北大会に出場しました。メンバーは、工藤春奈さん、菅野愛奈さん、鈴木佑奈さんの3人で、2月14日(日)に八戸市で開催された東北大会では、息の合った見事な演奏で銅賞を受賞しました。大変おめでとうございます。

学校給食で自然薯を堪能

自然薯を使った学校給食が1月28日(木)に町内小・中学校の児童・生徒など約500人に提供されました。

これは地域の特産物を知ることによって、子どもたちに大石田への愛着や理解を深めてもらえるよう、大石田町地域学校協働本部が企画し、大石田町新作物開発研究会(海藤明会長)や大石田南小学校(阿部雅士校長)の協力で実施されたものです。

献立は南小の歴代6年生が考えたメニューを参考に給食センターが作ったもので、この日は「自然薯入り餃子風スープ」が提供されました。

南小6年生の柏倉千隼くんは「トロトロのスープで、味は今までの自然薯料理で一番おいしかったです」と話していました。



園児が元気に「鬼は外！」

節分の豆まきが2月3日(水)に大石田保育園で行われました。

この日は、町地域おこし協力隊の隊員と町職員がそれぞれ黒鬼と赤鬼姿に扮して園児たちの前に登場し、園児たちは、鬼に向かって元気良く「鬼は外! 福は内!」と呼びかけながら、手に持った豆を思いっきり投げていました。

鬼は最後に、「家族や先生の言うことをきちんと聞くこと、守ること」を園児たちに約束させると、「悪いことするとまた来るぞ」と言いながら黒滝山に帰って行きました。

